

# 描いてみよう 私たちのまちの未来



「皮」の部分はまちの姿(あお色)  
こんなまちになってほしいな、  
ということ。

「身」の部分は暮らしの場面(みどり色)  
身近な暮らしがこんな風になってほしいな、  
ということ。

「真ん中のほう」は意識や行動(あか色)  
人々がこんな風になってほしいな、  
ということ。



## 稼ぐ・商う

農林業が継承され、  
田畑や山林が守られている

若手が農林業や伝統産業に就き、新たな  
価値を想像しながら地域経済を支える

## はたらく

身近な地域で働きながら  
住む人が増え、地域の担い手も  
増えてつながりが向上

## 食べる・買う

地域の中でお金がまわり、  
小さな商いが続けられる

## 移動する (観光)

住民・通勤通学者・観光客・  
障害のある方など、  
みんなが便利

地域の足をみんなで支えて  
公共交通が充実

車依存ではなく歩いて楽しい

観光客が集中する場所以外の  
魅力的な地域にも人が来る

駅や道路のバリアフリー化と同時に、  
心のバリアフリー化も

自分も地域の足を支える一員

区外からの通勤通学者や観光客に寛容

## つながる・交わる・集う

あちこちで気の合う人同士が集まり、  
にぎやかで活気がある

自己実現がしやすく、  
応援し合う

身近にお互いの目配り、気配りが  
程よく感じられ、安心感がある

## 身を守る・支え合う

災害時のようないざというときだけでなく、  
日頃から地域で起きていること、起きるかも  
しれないことに関心を持ち、助け合う

値段や利便性だけではなく  
色々な価値感(つくり手、  
地産地消、環境配慮など)で  
お買い物をする

車よりも公共交通を使う

「ちょっとやってみたい」を気軽に言  
え、応援できる

好きなときに、好きなかたちで、  
人と関われる場所がある

「ちょっとやってみたい」を語り合い、  
実現できる場所がある

日頃から隣近所でお互いにほどよい  
距離感で気遣いし合えるような  
コミュニケーションをとる

災害時だけでなく児童虐待、  
DV などを含め、何かあったときに  
SOS を出せる人や場所が身近にある

地域での活動を通じて、多様な  
世代との交流ができる

自分のライフスタイルに合う  
商品・サービスがある

色々な産業に  
興味・関心を持つ

色々な人がいることを受け止める

地域での活動に  
色々な関わり方で  
参加する

日頃から健康に気を遣い、  
楽しみながら健康づくりに  
取り組む

できるだけ自分のことは自分で、  
でも困ったときには助けると  
言える

世代を問わず、病気になったり  
困ったときに、孤立することなく、  
助けてくれるサポーターが身近に  
いる

病気になっても参加できる場所がある

支える側の人たちが、元気にやりがいを  
持って働き、活動している

## 健康に暮らす

健康寿命が延びて元気な高齢者が増え、  
地域や社会とのつながりを持ち続け、  
生きがいを待つ

自分らしい生き方・働き方を考え、  
ライフデザイン・キャリアデザイン  
する

中高生や大学生が働くことを  
ポジティブに考えられる

自分以外の地域の子どもや  
親のことを気遣い、気配りする

子どもや若者に  
地域への愛着がある

子どもや大人が、文化やスポーツ、  
レクリエーションなど、自分の有意義  
な時間の使い方を楽しんでいる

楽しく遊ぶ大人たちの姿を見て、  
遊び方や楽しみ方を知り、好奇心を持つ  
子どもたちが増える

子どもや大人が安心して自由に  
のびのびと遊び、学べる場所がある

大人たちも自由な時間で学び、  
遊びながら、仕事以外の色々な  
つながりを持つ

塾やスポーツ教室などの  
習い事以外にも、子どもたちが  
身近な地域で学び、暮らしを楽しむ  
有意義な時間を過ごす

病気になったり困ったときに、  
家族や職場・地域などで支え合う

## 育つ・育てる

子育てで困ったときに  
助け合える人が身近にいる

子どもたちが家庭や学校以外で  
大人と関わる機会が増え、  
役割や居場所がある

若者が住みたい、  
戻りたいと思える

若者が主体性を持って  
活躍できる  
機会・場所がある

自尊心や自己肯定感があり、  
心豊かな子どもが育つ

## 学ぶ・遊ぶ・楽しむ

